



「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」結果発表 No.1

問い合わせ 企画財政課 ☎2125

問・項目	幸せ感の尺度となる感情	設問	平成23年度			平成24年度			結果概要
			「はい」の割合(%)	問1設問での順位	問1項目での順位	「はい」の割合(%)	問1設問での順位	問1項目での順位	
生活基盤が整ったまち	「うれしい」「便利だ」「ありがたい」	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	33.2	15位	5位	26.4	15位	5位	3つの設問のうち「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」が前年度と同様に全設問中最下位(26.4%)となったため、項目での幸せ感も最下位ですが、「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」については、幸せ感はかなり高く(4位:64.6%)なっています。
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	48.1	12位		55.9	8位		
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	66.8	4位		64.6	4位		
安全なまち	「ほっとする」「ありがたい」	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	82.0	1位	1位	73.6	2位	1位	前年度と同様に項目での順位が一番高いものの、設問では「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」が目立って高い(2位:73.6%)以外は、その他2設問が、8位と12位で、設問間の幸せ感の差が大きくなっています。また、2位の設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」について、前年度と比較して大きくポイントが下がりました。(8.4ポイント)
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	52.2	10位		47.5	12位		
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	51.9	11位		55.9	8位		
安心できるまち	「ほっとする」「うれしい」「ありがたい」「充実感がある」	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	59.8	8位	4位	57.8	6位	3位	自分の健康管理に日頃から気を付けている方が76.1%で、この設問の幸せ感が前年度の2位から1位に上がりました。設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」が全設問中14位(32.6%)で、この項目の中でも目立って幸せ感が低くなっています。項目での幸せ感、前年度の4位から3位に上がりました。
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	78.8	2位		76.1	1位		
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	34.5	14位		32.6	14位		
心にゆとりを感じるまち	「うれしい」「楽しい」「心地よい」	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	65.5	5位	2位	61.8	5位	2位	前年度と同様に幸せ感が2番目に高く、全ての設問において半数以上の方が幸せ感を感じています。最もバランスがとれている項目です。
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	60.4	7位		54.7	10位		
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	56.6	9位		56.5	7位		
大竹を愛する人づくり	「うれしい」「好きだ」	大竹のよいところを知っている	47.2	13位	3位	45.7	13位	4位	設問では「あなたの暮らす地域が好きだ」(3位:66.8%)と比較して、「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ(11位:53.1%)」、「大竹のよいところを知っている」(13位:45.7%)が低くなっています。項目での幸せ感、前年度の3位から4位に下がりました。
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	63.3	6位		53.1	11位		
		あなたの暮らす地域が好きだ	70.6	3位		66.8	3位		
問1全体幸せ感(「はい」の割合(%))			58.1			55.3			「はい」と答えた人の割合は、55.3%です。全ての項目について、前年度から若干ポイントが下がっています。
問・項目		設問	「はい」の割合(%)	問2全体の幸せ感(「はい」の割合(%))		「はい」の割合(%)	問2全体の幸せ感(「はい」の割合(%))		結果概要
市民自治	問2	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	61.1	55.2	57.1	52.6	問2全体で、「はい」と答えた人の割合は、52.6%です。自分の暮らす地域について、普段から関心を持っている方が、約6割。また、実際に何か地域に貢献したいと思っている方も約5割います。		
		自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	49.4		48.1				

※ 前年度調査結果との数値比較を矢印で表示しています。

「わがまちプラン」(第五次大竹市総合計画)のまちづくりのテーマである「大竹市に住んでよかった」と思えるようなまちづくりに役立てるため、政策評価としてアンケートを実施しました。

アンケートは昨年度から始めた取り組みですが、市民の皆さんの心配や不安を解消することで、幸せ感に関するポイントを上げるといことを目標に、毎年実施します。

有効回答数及び回収率は、「一般回答者」が322件(21・5%)、「モニター回答者」が80件(80・8%)でした。今回は、一般回答者分についてご紹介

調査方法

市内在住の満18歳以上の方1,500人を無作為抽出し、アンケート形式で調査を行いました。

調査内容

問1 わがまちプランの基本目標に関連する5項目について、それぞれ幸せ感を量る尺度を設定し、15の設問ごとに「はい」、「いいえ」の2択のほか、主に心配に思っていることを自由記述で回答

問2

市民自治についての考えを「はい」、「いいえ」の2択と自由記述で回答

問3

幸せ感を高めることの提案を、自由記述で回答

問4

どのような時に幸せを感じるかを自由記述で回答

分析方法

問1 各項目・各設問で「はい」と答えた人の割合を算出。その値で、市民の幸せ感を測定

問2

問1と同様の割合を算出。その値で、まちづくりを自分自身の問題と捉え、行政と一緒に考え行動する、わがまちプランに定める市民自治の精神の広がり測定

結果概要(問1と問2を紹介)

これからの取り組み アンケートで、性別、年齢別などの回答の違いや、各問の自由記述から浮かび上がってくる大竹市の強いところや弱いところ、また、市民が普段の生活で感じている幸せ、あるいは心配な部分についても分析していますので問

3、問4の結果とともに改めてご紹介

今後は、これらの分析結果から見える行政課題の克服に加え、アンケートをわがまちプランの計画期間中継続して実施し、市民の皆さんの幸せ感が実際に高まっているか、毎年確認しながら、わがまちプランを推進していきます。

なお、調査結果の詳しい内容は、わがまちプラン前期基本計画の数値目標達成状況とともに「行政評価報告書」としてまとめています。情報公開コーナー(市役所1階)、各支所、総合市民会館、小方公民館、栄公民館、図書館、市ホームページでご覧ください。